

健康管理システム 機能要件一覧表 兼機能要件具備確認表

「対応可否」について、パッケージ標準機能で対応可能な場合は◎、カスタマイズで対応可能な場合は○、代替機能で対応可能な場合は△(「備考」欄に対応方法を記入)、対応不可の場合は×を記入すること。

機能分類1	機能分類2	項番	内 容	対応可否	備考(代替機能、追加費用等)
利用者管理		1	利用者ごとに、職員、システム管理者、事業場担当者、産業医・看護師等の権限を設定できること		
		2	割り当てた権限に応じて、利用可能な機能を設定できること		
		3	割り当てた権限に応じて、処理機能と検索及び閲覧範囲の設定がそれぞれできること		
		4	産業医や事業場担当者等については、担当する事業場の管理している職員の各種情報について処理権限を設定できること		
		5	権限については、利用者ごとに健診・面談・利用メニューの権限を任意に設定できること		
		6	権限については、利用者及び権限内容を随時、委託者により任意で追加、修正できること		
		7	利用者のログインパスワードは、システム管理者及びログインした利用者自身を変更できること		
		8	ログイン認証により処理範囲を制限するとともに、データベースへのアクセス履歴(データ変更履歴)を保存し、セキュリティチェックが可能であること		
		9	Excel、CSVで一括で権限設定ができること		
		10	操作ログが確認できること		
		11	データ変更履歴を全て保存し、万一データ改ざんがあっても、変更履歴を確認して、原因究明が可能であること		
		12	登録されている職員情報、各種検診結果、各種面談記録等の項目によりデータ検索が可能なこと		
		13	職員情報、各種検診結果、各種面談記録等については、システム上での登録およびExcel、CSVでの一括登録が可能なこと		
職員情報管理		14	職員情報は10桁までの職員番号で管理できること		
		15	職員に関する基本情報・雇用情報・所属情報等を、管理者が自由に設定・変更・削除ができること (氏名・メールアドレス、生年月日等の個人情報、保険関連情報、入退職や在籍ステータス、所属部署や役職、雇用形態等)		
		16	所属は10区分まで階層化を可能とし、各階層において所属コードを10桁以上設定可能とする。また、変更履歴を有すること		
		17	役職(部長・課長・係長等)の種類は100種類以上設定可能であること。また、変更履歴を有すること		
		18	職員番号を変更しても、過去の職員情報履歴及び健康診断結果等を含めて同一人物として一元管理できること		
		19	退職者のデータ管理ができること		
		20	退職者については、再雇用等により再度、在職する場合、職員番号を変更しても、過去の職員情報履歴及び健康診断結果等を含めて同一人物として一元管理できること(期間が空いて再度在職する場合も、同様とする)		
		21	採用予定者のデータを、在籍者とは別の属性として管理ができること		
		22	採用予定者は、配属後、在籍者の属性へ変更が可能であること		
		23	管理可能な項目について、当機構の保有する職員データを、CSV形式のファイルで取込みができること		
		24	人事管理システム等の他業務システムと連携し、人事異動等の職員データを自動連携できること		
		25	職員の入職・退職・異動等があった場合、職員マスタをCSVのインポートで更新できること		
健康診断	<ul style="list-style-type: none"> ・一般健康診断(定期健康診断、雇い入れ時健康診断、特定業務従事者健康診断) ・特殊健康診断(電離放射線作業従事者健康診断、有機溶剤等健康診断) ・人間ドック 	26	条件検索にて対象者の抽出が可能(休職者・人間ドック受診者除く、特定業務従事者の抽出等)であること		
		27	健康診断結果(判定済み)データを一覧で確認できること		
		28	表示される健康診断項目のレイアウト(表示項目や並び順)の追加が、受託者の権限により容易にできること		
		29	健康診断結果については、健康診断の種類ごとにレイアウト作成ができること		
		30	職員ごとに健康診断の種類情報の取り込み・変更が、受託者の権限により容易にできること		
		31	健康診断の種類追加、項目の追加が容易にできること		
		32	各種健康診断種別の結果を、CSV形式のファイルで取込みができること		
		33	管理者が、取り込んだ各種健康診断の結果を、必要に応じて、直接修正可能であること		
		34	取り込んだ健康診断結果データを、画面で時系列順に5回分を表示できること		
		35	選択した健康診断種別の健康診断結果データを、指定した年度ごとに表示できること		
		36	選択した健康診断種別の健康診断結果データを表示する画面において、表示される項目をプルダウン等によって絞り込みができること。また、絞り込む条件は、管理者画面から任意に設定できること		
		37	選択した健康診断種別の健康診断結果データを、PDFファイルで出力できること		
		38	直近で実施した健康診断の受診日が出力可能なこと		
		39	管理者が、基準値の統一・独自の基準値設定が可能であること		
		40	有所見者の抽出が可能であること		
		41	自動判定済みの受診者を一覧で表示でき、所見の有無を容易に把握できること		
		42	自動判定済みの受診者の結果をCSV形式のファイルに出力できること		
		43	受診者の情報や健康診断結果を条件に応じて検索でき、検索結果をファイル出力できること		
		44	種別ごとの健康診断対象者をCSV形式のファイルに出力できること		
		45	種別ごとの健康診断対象者の出力にあたっては、所属情報、年齢等複数の抽出条件の指定ができること		
		46	労働基準監督署報告書様式への転記用のデータが、期間を定めて、出力できること		
追加検診	大腸がん検診、胃がん検診、婦人科がん検診	47	健康診断と同様に、管理が可能であること(上記27～46の機能要件を満たすこと)		
		48	がん検診等の希望者募集、申し込みが可能であること		

機能分類1	機能分類2	項番	内 容	対応可否	備考(代替機能、追加費用等)
二次健診の受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> ・一般健康診断(定期健康診断、雇い入れ時健康診断、特定業務従事者健康診断) ・特殊健康診断(電離放射線作業従事者健康診断、有機溶剤等健康診断) ・人間ドック ・大腸がん検診、胃がん検診、婦人科がん検診 	49	予約・受診状況の照会が可能であること		
		50	二次健診受診対象者の検索が容易にできること		
		51	二次健診受診対象者については、当機構の基準によって、複数の抽出条件の指定ができること		
		52	抽出した二次健診受診対象者の一覧が、CSV形式のファイルに出力できること		
		53	二次健診受診対象者に対する受診勧奨通知を、設定しているメールアドレス宛で一括送信できること		
		54	職員から二次健診結果の報告(受診日、受診した医療機関、結果等)を受けられること		
		55	職員が二次健診結果の報告する際は、PDFや画像データ等が添付可能であること		
		56	職員が登録した受診結果については、管理者の画面から確認できること		
		57	職員が登録した受診結果の一覧が、CSV形式のファイルに出力できること		
		58	アップロードした特定保健指導の対象者リストにより、受診勧奨を一斉送信できること		
面談管理		59	特定保健指導の対象者から、受講結果の報告(受講日、受講機関等)を受けられること		
		60	種別ごと(健康診断事後措置面談、過重労働面談、ストレスチェック高ストレス者面談等)に面談記録を管理ができること		
		61	面談種別を制限なく管理者が自由に登録できること		
		62	面談対象者の任意追加が可能であること		
		63	面談対象者をCSV形式のファイルで取込みができること		
		64	面談予定日時の予約、確定メールの送信ができること		
		65	種別ごとに面談対象者の検索及び抽出が可能であること		
		66	種別ごとに面談対象者の情報をCSV形式のファイルに出力できること		
		67	面談記録時、診断書の原本等のPDFについて、1面談につき3ファイル以上アップロードできること		
		68	面談記録時、面談対象者の健康診断データ等の個人情報詳細を容易に検索、閲覧できること		
過重労働管理		69	面談記録をCSV形式のファイルに出力できること		
		70	過去の面談の一覧(対象者、面談日時、面談種別等)をCSV形式のファイルに出力できること		
		71	面談ごとに記録の開示許可を設定できること		
		72	残業時間をExcel、CSVで一括登録できること		
		73	残業時間集計結果の確認ができ、時間外労働時間45.00.100時間以上の対象者を、職種別で抽出できること		
就業判定		74	残業時間と各種健康診断結果を用いて、異常の有無等、リスクに関するレポートの集計ができること		
		75	リスクレポートについては、同画面において面談対象者の設定ができること		
		76	就業判定は、受託者が配置する委託産業医が実施できること		
		77	健康診断結果に対する就業判定の設定ができること		
		78	就業判定の設定の際は、面談記録を含み、当該個人の情報の詳細を同一画面で確認できること。あるいは容易に検索し、確認できること		
産業医意見書作成・管理		79	就業判定を設定する画面においては、自由に記入できるメモ欄等があること		
		80	「通常勤務可」等の就業判定の付与については、CSVの取り込み等により一括判定ができること		
		81	種別ごと(健康診断事後措置面談、過重労働面談、ストレスチェック高ストレス者面談等)の面談に対して産業医の意見書の管理ができること		
		82	作成した産業医の意見書をPDFで出力できること		
抗体価・ワクチン接種記録管理		83	当該職員について、種別ごとの面談に係る産業医の意見書の確認が、同一画面で容易にできること		
		84	意見書の作成画面において、対象職員名と併せて産業医名が表示されること(産業医と担当職員を紐づけられるようにすること)		
		85	抗体価検査結果の管理(検査日、検査方法、抗体価等)ができること 【以下の項目が管理できること】 麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎/C型肝炎・結核(T-spot)		
		86	ワクチン接種履歴の管理(接種日、種類等)ができること 【以下の項目が管理出来ること】 麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎・インフルエンザ		
		87	抗体検査結果、ワクチン接種履歴の一括アップロード・ダウンロードが可能であること		
		88	抗体価の独自の基準値設定ができること		
		89	抗体価の判定(陽性・疑陽性・陰性判定)ができること		
		90	ワクチン接種要否の判定ができること		
		91	抗体価不足等の職員に対し、ワクチン接種勧奨通知等を一斉送信できること		
		92	抗体価不足等の職員から、ワクチン接種記録等の報告を受けられること		
		93	ワクチン接種記録等を職員が報告する際は、PDFや画像データ等が添付可能であること		
		94	抗体価不足等の職員が登録した、ワクチン接種記録等については、管理者の画面から確認できること		
		95	抗体価不足等の職員が登録した記録の一覧が、CSV形式のファイルに出力できること		
		96	採用予定者についても、在籍者と同様の機能を満たすこと(項目86～94を満たすこと)		

機能分類1	機能分類2	項番	内 容	対応可否	備考(代替機能、追加費用等)
		97	採用予定者が登録した抗体価・ワクチン接種記録については、管理者の画面から確認できること		
		98	採用予定者が登録した記録の一覧が、CSV形式のファイルに出力できること		
		99	各所属の感染対策室は、職員の状況を24時間体制で確認することができること		
ストレスチェック		100	PC/スマートフォンにて受検可能であること		
		101	紙受検に対応可能(調査票の出力、回答の取り込み)であること		
		102	未受検者を抽出し、一斉勧奨メールが送信できること		
		103	厚労省が示す着点換算表を用いた個人結果の分析ができ、受検後すぐに表示されること		
		104	独自の基準で高ストレス者の抽出が可能であること		
		105	高ストレス者へ面接勧奨通知等を一斉送信できること		
		106	高ストレス者について、受託者が配置する委託産業医により面談が実施できること		
		107	面談に使用する問診票を、対象者もしくは管理者がアップロードし、面接医師へ共有できること		
		108	各事業所の部署・職種ごとに分析レポート(高ストレス者率、ストレス判定図)の出力が可能であること		
		109	集団分析単位のカスタマイズが容易にできること		
		110	属性単位やそのほか指標とクロス分析が可能であること(部署×職種、部署×年代など)		
		111	産業医・産業保健師等による集団分析報告会を実施すること		
		112	ストレスチェック個人結果をCSV等で一括アップロードが可能、また、一括ダウンロードが可能であること		
		113	管理者が指定したストレスチェック個人結果の一括印刷が可能であること		
		114	労働基準監督署報告書様式への転記用のデータが、事業場ごとに出力できること		
職員向け機能		115	各種案内については、登録済みのメールアドレス宛てに通知されること		
		116	各種報告(二次検診結果報告、特定保健指導受講結果報告、抗体価等報告)については、システムから回答が可能であること		
		117	各種検査結果(健康診断、追加検診、抗体価・ワクチン接種記録、ストレスチェック等)を、経年で閲覧可能であること		
		118	指定した検査結果を、PDFファイルで出力できること		
		119	検査結果画面から、二次健診の受診対象であることが容易に確認できること		
		120	ストレスチェックの検査結果画面から、高ストレス者であることが容易に確認できること		
		121	面談種別ごと(健康診断事後措置面談、過重労働面談、ストレスチェック高ストレス者面談等)に面談履歴を確認できること		
		122	検査結果画面から、基準値に満たない抗体(小児・B型肝炎)について容易に確認できること		
		123	検査結果画面から、必要なワクチン接種について容易に確認できること		
その他調査・統計機能		124	上記のほか、管理している情報をCSV形式のファイルに出力できる等、データの汎用抽出が可能であること		
		125	独自設問を設定し、アンケート調査の実施ができること		
		126	各事業所の職種ごとに分析レポート(設問毎に、結果を年代別に集計)の出力が可能であること		